

「第2次いずみさの男女共同参画すいしん計画」

策定に関するパブリックコメントについて

「第2次いずみさの男女共同参画すいしん計画」策定のための意見募集の結果をご報告します。いただいたご意見と市の考え方について、市報とホームページにて公表いたします。

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間

平成24年2月6日（月）～平成24年2月20日（月）

(2) 周知方法

市報および市ホームページ

(3) 意見の応募者数と件数・・・6名の方から10件のご意見をいただきました。

応募者数：6名

【内訳】男女内訳：男性 4名 女性 2名

年代：60歳代男性2名 他の方の年代は不明記

合計ご意見数：10件

【項目ごとの意見件数内訳】

名称について	基本目標 I	基本目標 II	基本目標 III	基本目標 IV	基本目標 V	基本目標 VI	基本目標 VII	基本目標 VIII
1件	1件 (提案)	0件	0件	0件	1件 (校正)	0件	1件 (表記)	0件
策定趣旨	計画策定背景	計画体系図	年表	基本理念				
1件 (校正)	1件 (単身高齢者)	1件 (表記)	2件 (表記)	1件 (校正)				

(4) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	合計
人数		1名		5名		6名

2 ご意見の概要と市の考え方

ご意見番号	ご意見の概要	市の考え方
<p>(1) 計画の名称について</p>	<p>通称の「人ひとプラン」は前プランからの継承でいいのですが、 「第2次いずみさの男女共同参画すいしん計画」については、ひらがなが多い気がしますのでご再考願えないでしょうか。よろしく願いいたします。</p> <p>例えば「第2次いずみさの男女共同参画推進計画」や「第2次いずみさの男女共同参画行動計画」など、ぜひよろしく願いいたします。</p>	<p>名称について、策定部会に再度、お諮りさせていただきました。</p> <p>① このまま ② いずみさの⇒泉佐野 に ③ A:すいしん⇒推進 に ④ B:すいしん⇒行動 に</p> <p>事務局案： 「第2次いずみさの男女共同参画行動計画」 理由：②は現行のまま ③は、戻る・後退する感じがある</p> <p><u>④は、ご意見を採用させていただく。今回、具体的な行動として、条例化の検討をお示ししており、行動計画とする方がよりそぐわしいと判断します。</u></p> <p>回答：策定部会で審議いただいた結果 すいしん⇒ 行動 に改め、 計画名称を「第2次いずみさの男女共同参画行動計画」に変更させていただきます。</p>
<p>(2) 文字校正等 P3 18行目 計画策定の趣旨</p> <p>(3) P25 基本理念</p> <p>(4) P49 8行目 基本目標V</p> <p>(5) P56 9行目 基本目標VII</p>	<p>1. 計画の趣旨 実施した時“に” →実施した時“<u>の</u>”</p> <p>2. 基本理念 段落を1字落とした方が見やすいのでは？</p> <p>3. 「女性であるにより」 →「女性であることにより」</p> <p>4. 小さいころからの →子供のころからの</p>	<p>校正誤り⇒修正します。</p> <p>⇒修正します。</p> <p>校正誤り⇒修正します。</p> <p>「子どものころからの」に修正します。</p>

ご意見番号	ご意見の概要	市の考え方
<p>(6) P5 5行目 計画策定の背景 (1) 人口減少社会の 到来、少子・高齢社会 の進行</p>	<p>素案では⇒ 「そして、その高齢者のうち一人暮らし をしている人の男女比をみると、平成 22年には女性のみ世帯が74.9% を占めています。高齢者の問題は女性 の問題ともいえます。」と表記。</p> <p>高齢者の問題は比率が高いからと言っ て「女性の問題」と決めつけるのはど うか。問題としては男性の高齢単身 の方が問題なのでは？(約25%)を無 視しないように。</p>	<p>ご指摘のとおり、H17-22の増加率の 著しいのはむしろ男性の単身者であ り、今後も未婚や離婚で急速に男女 ともに単身者は増えていくと考えら れます。</p> <p>対応する内容として、P43に文章を追 加させていただき、P5では割合の差 を述べるにとどめさせていただきました。</p>
<p>(7) P19~22 世界・国・大阪府・泉 佐野市のこれまでの 動き</p> <p>(8)</p>	<p>質問1： 年表の年の表記について、西暦が先で すか？</p> <p>質問2： ・大阪を基準に⇒泉佐野・日本・世界の 「これまでの動き」としたらどうか？</p> <p>・表内の表記順を大阪・泉佐野・日本・ 世界にしてはどうか。</p>	<p>回答1：和暦・西暦を併記しております が、文中では和暦を優先、「これまでの 動き」表中においては、世界の動き を受けて、西暦を優先しておりました。 ご指摘のとおり、一貫性を考え、文中 や表中においても和暦を優先に統一す ることとさせていただきます。</p> <p>回答2： 男女共同参画に関する「これまでの動 き」年表内の表示の順序につきまして ご指摘のとおり、 大阪府を基準に⇒泉佐野・日本・世界 と視野を広げていく方が、より身近な ところからイメージするわかりやすさ 等はあると思われませんが、 ⇒年表にもありますように、国際連合 にて、昭和50年(1975年)を「国際婦 人年」と定め、世界的に女性の地位向 上を図る議論等が展開されました。同 年メキシコ・シティで開催された「国 際婦人年世界会議」では、女性の自立 と地位向上を目指して向こう10年間 の各国の取り組むべき指針の「世界行 動計画」が採択されました。</p> <p>同年、我が国では、女性の地位向上の ための総理府に「婦人問題企画推進本 部」が設置され、昭和52年(1977年) に「国内行動計画」が策定されたとい う流れにもありますように、我が国の 動きは国際的な動きに連動し、都道府 県の動きは国の、市町村の動きは、国 や府の動きに連動しているため、その 経過がわかるように、原案のままの表 記順序とさせていただきます。</p>

ご意見番号	ご意見の概要	市の考え方
(9) P29 計画の体系	表の基本目標 I (ローマ数字の表記) について縦の表⇒横書きであるため表も横にすべきでは？	体系図全体の見易さから縦の表を作成していましたが、ご指摘のとおり、表中の文字の見易さを考慮し修正します。
(10) P37 基本目標 I	基本課題 4 ③子どもや若者のための学習や体験活動の推進について 昭和 61 年に「男女雇用機会均等法」が施行されてから四半世紀が経過しておりますが、男女の地位の平等感の調査結果によると、最も高い学校教育の場でも 30%強と低調であります。より意識を高める方策として、子供や若者に向けた学習や体験活動が有効的と思われました。当市には、立派な生涯学習センターや歴史館等がありこれらの施設を活用したイベントを開催して職業観、勤労観、職業に関する知識等を(老若男女、子ども、若者等イベント内容に沿った対策者を集める。)広めることを提案します。 〈例〉映画会、手話教室、歴史館見学、歴史セミナー開催、生涯学習センタークラブ会員との交流会、料理教室、工場見学。	ご意見のとおり、学校のみならず、さまざまな施設との連携を図りながら、子どもや若者に向けた学習機会や体験活動の提供を図っていきたいと考えています。 また、開催内容や関係部局間の連携等についても「第2次人ひとプラン」の実施計画及び進捗管理の中で計画的、総合的に進めてまいります。